

自転車事故を防ごう!ヘルメットを着用しよう!



自転車のハンドルを握ることは、自分だけでなく他者に対する大きな責任が発生します。

守ってますか? 交通ルール・マナー

- 自転車の死亡・重傷事故では、運転していた児童生徒の約8割に法令違反がありました(警察庁調べ)
- 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行

危険な運転をしていませんか?

- スピードの出し過ぎ
- スマートフォンを操作しながら…
- 交差点の一時不停止
- イヤフォンをつけて…
- 前方不注視
- 友だちと並んで走行…

日頃の点検整備が大切!

- 自転車を安全に利用するため、定期的に車体点検し、必要な整備・修理をしておきましょう。

賠償責任保険への加入を!

- 小学生が起こした事故で、保護者に9,500万円の賠償命令が出たケースもあります。



ヘルメットは大事!

- ヘルメット未着用の場合の自転車事故による**致死率は、着用時の約3.3倍**(警察庁調べ)
- 自転車死亡事故の**約6割は頭部損傷によるもの**。(警察庁調べ)
- 県内でも、高校3年生が意識不明の重体となる事故が発生

ヘルメット着用モニター活動中! ~高校自転車通学生全員のヘルメット着用へ!~

- 県立学校自転車通学生600名によるモニター活動がスタート
- ヘルメットを購入し、自転車利用時に着用
- アンケート調査や啓発活動等への協力
- 令和2年度には新規モニター600名を加えて、自転車通学生の約1割にあたる1200名に増やし、令和3年度からの全員着用を目指します!

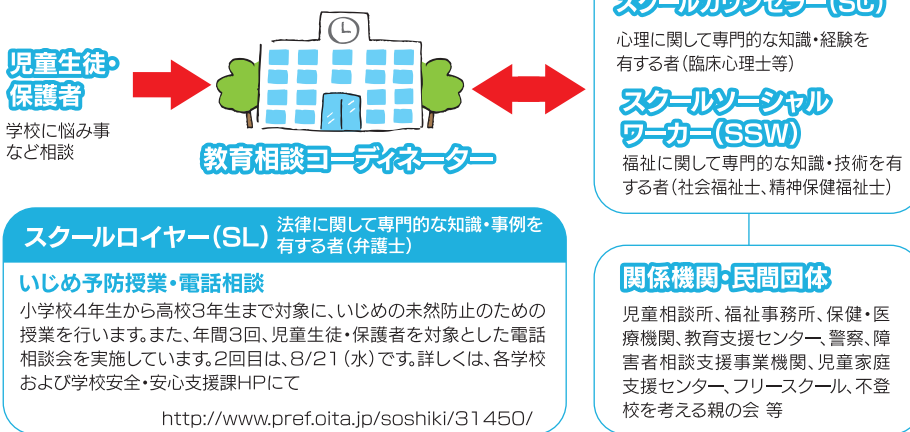
目的 交通安全意識の向上による自転車事故の減少 ヘルメット着用による頭部損傷の軽減

問 学校安全・安心支援課 TEL 097-506-5548

学校における教育相談体制の充実に向けて

教育相談コーディネーターが専門スタッフへつなげます!

すべての公立小・中・高校および特別支援学校に児童生徒・保護者とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフとをつなぐ教育相談コーディネーターがいます。



「いじめ相談窓口『スクールサイン』」を導入

いじめ等生徒指導上の諸問題の早期発見と組織的な対応を図るために、匿名での連絡を可能にする「一方向型の連絡サイト」を導入します。インターネットを活用し、いつでも連絡を可能にします。

大分県いじめ相談窓口



- 運用開始/令和元年7月16日(火)~
- 対象/県立高等学校(県立中学校を含む)
- 受付時間/24時間受付

問 学校安全・安心支援課
TEL 097-506-5546

学校安全・安心支援課

高等学校へ通っている生徒の保護者の方へ。教育費負担を軽減する支援制度(返済不要)があります!

高校生等奨学給付金【授業料以外の教育費の支援】

- 道府県民税所得割額と市町村民税所得割額が非課税の世帯へ、教育費の支援として、年額32,300円~138,000円の給付金が支給されます。
- 「奨学給付金」は、返済不要であり、保護者等に直接給付されます。
※公立高校と私立高校では、給付額が異なります。
- 県外の高等学校へ通っている生徒の保護者等も対象となります。
- 申請手続等の案内は各学校からあります。この給付金は申請しなければ受けることができません。
- 詳細は大分県教育委員会(公立高校) 大分県(私立高校)のホームページに掲載しています。

問 公立高校:大分県教育庁 教育財務課 TEL 097-506-5416 問 私立高校:大分県生活環境部 私学振興・青少年課 TEL 097-506-3078